

臨地実習（在宅看護学 / 高度実践コース）

[実習] 1年 後期 必修 90時間 2単位

《担当者名》○竹生礼子[take-r@hoku-iryo-u.ac.jp]
川添恵理子[e-kawa@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

在宅看護基礎的実習

専門看護師が所属する事業所において、専門看護師としての6つの能力（卓越した実践、教育、相談、連携調整、研究、倫理的問題の調整）とはどのようなものかを見学および実践により理解する。

【学修目標】

専門看護師としての6つの能力（卓越した実践、教育、相談、連携調整、研究、倫理的問題の調整）とはどのようなものか理解する。

専門看護師が、多問題・困難課題を抱える療養者（主として精神疾患をもつ療養者）、終末期にある療養者に看護を提供するにあたり、在宅看護スペシャリストが果たす役割について、事例を通じて実践的に学ぶことができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	実習課題	1. 専門看護師としての6つの能力（卓越した実践、教育、相談、連携調整、研究、倫理的問題の調整）とはどのようなものか、指導者をシャドウイングすることにより理解する。 2. 専門看護師が、多問題・困難課題を抱える療養者（主として精神疾患をもつ療養者）、終末期にある療養者に看護を提供するにあたり、在宅看護スペシャリストが果たす役割を学ぶことができる。	竹生 川添
	実習方法	・臨床指導者にシャドウイングし、専門看護師の6つの能力（卓越した実践、教育、相談、連携調整、研究、倫理的問題の調整）とは何か、6つの能力を果たすためには何が必要かを考察する。 ・実習後、実習レポートを作成する。	
	実習場所	訪問看護ステーション（医療法人 耕仁会 訪問看護ステーションやまのて） 在宅療養支援診療所（札幌医療生活協同組合 ホームケアクリニック札幌）	
	実習期間	多問題・困難課題を抱える療養者（主として精神疾患をもつ療養者）への看護場面、終末期にある療養者への看護場面につき各1週間、合わせて概ね2週間とするが、課題達成していない場合には延長する。	

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習課題の達成状況（40%）、実習レポート（60%）

【教科書】

特になし

【参考書】

適宜紹介

【学修の準備】

実習目的を明確にし、実習計画を立案する。文献検討や実践の中から浮かび上がった疑問・課題をまとめておくこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。